



広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:00
9月 5日 宇宙を身近に！缶サット体験会
9月12日 知事と語る
9月19日 動物愛護センター
～いのちについて考える～
9月26日 開幕まであと一ヶ月！
紀の国わかやま文化祭2021

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55
マンスリー県政 ニュースワイド
毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。
ラジオでお届け！県政最前線 火曜 15:40
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)～11月21日(日)

公式ガイドブックが完成!

10月30日から開催する本文化祭の全事業の詳細内容、特別インタビューやモバイルスタンプラリーなどを掲載した「公式ガイドブック」が完成しました!



県本庁舎、各振興局庁舎や各市町村役場など、県内各所で配架していますので、ぜひ手に取っていただき、文化祭会期中の各イベントにご参加ください!

問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局
☎073-441-2570 FAX073-423-7120
紀の国文化祭

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



若者よ、様々な分野に関心を持とう

オリンピックが感動のうちに終わりました。メダルを取る取らぬにかかわらず、アスリートが全力を尽くす姿に感動しました。とりわけ、10代の中高生の選手の活躍も目を引きました。また、甲子園での高校野球も今年は開催され、長い、きつい練習を積み重ねてきた選手達の熱闘が繰り広げられました。和歌山では紀の国わかやま総文2021(全国高等学校総合文化祭)が和歌山の高校生自身の企画、運営で展開され数々の感動を生みました。苦労は多かったと思いますが、こういう機会にめぐり合わせた若者はつくづく幸せだなあと感じます。

人口は少々減りつつあるとはいえ、和歌山でも若者はどんどん生まれ、成長しています。上記のような機会に主役として直接参加できなかった諸君も、何がしかの経験と見聞と感動を得たはずであります。

教育と文化とスポーツがうまくいっているのは、地域づくりの理想だと私は思っていますが、特に若者を立派に育てる教育(行政)には特段の努力をしてきました。

学力をつけるために教え方の研鑽をし、授業についていけなくなった子を個別補習で支え、様々な工夫で体力を向上させ、道徳教育と郷土教育を施し、いじめや不登校を解決する工夫をし、学校と地域が力を合わせるコミュニティスクールを整備し…と様々な取組をしてまいりましたが、オリンピックや総文祭を見ていると、中高生諸君に大いなる刺激を与えることも大事だなあと感じます。

ロケットが申本に来る、それなら宇宙に関心を持つ様々な機会を作ろう。アジア・オセアニア高校生フォーラムを機に外国語や海外に関心を持ってもらおう。ジオパーク探偵団に入ってもらって、地球の成り立ちや紀伊半島の魅力に関心を持ってもらおう。読書も大事だし、自然に興味を持って関心分野の研究をするのも大事だから、全国的にコンクールをして優秀者を讃えよう…。このように子供達に刺激を与える様々な工夫をしてその関心を高め、彼らの未来を大きくしていくのが我々行政の務めです。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。